

代表質問

鳥取県議会自由民主党



語堂 正範 議員
選挙区 東伯郡



和牛全共の結果と畜産振興

問 第12回全国和牛能力共進会において、目標には及ばなかったが、今後ブランド力の向上に向けてどのように推進していくのか。

答 鳥取和牛の頭数は少ない。高級志向の戦略で展開を図っていく。

「ギフ鳥（※1）」の推進を

問 地域づくりを支援する仕組みとしてギフ鳥がスタート。今後どのように推進していくのか。

答 PR事業などを手がけ始めたところ。寄附文化を醸成し、新年度以降に向け展開を強めていく。

農業改良普及所の体制強化

問 普及所は農家のよろず支援の場であってほしい。組織力向上が必要と考えるがどうか。

代表質問

答 新しいスタイルの普及所が求められる。農家から頼られる体制を堅持し、高齢化した普及員の後進の指導や育成に力を入れていく。

高校魅力化の推進

問 今後、高校魅力化を進める中、コーディネーターのネットワーク形成が必要と考えるがどうか。

答（教育長） 各自治体が設置するコーディネーターを核とし、高校の魅力化と併せて地域の活性化につながるような地域を巻き込んだ取組となるよう連携を図っていく。

鳥取県らしい半農半X（※2）

問 人手不足、担い手不足は大きな課題となっている。鳥取県らしい半農半Xの取組を行っては。

答 半農半X的な生き方の推奨を、モデル的に展開したい。

木育ビジョンの今後は

問 木育ビジョンは第3期以降どのように展開するのか。

答 木と親しんで遊べる木育の拠点を増やすとともに、コーディネーター人材の育成に注力していく。

食農教育の再始動を

問 食農教育を推進するには農家や各部署との連携が必要では。

答 現場ではあぐりキッズスクールという良い取組がある。食農教育はもう一度ビジョンを立て、鳥取らしいふるさと教育に繋げる。

県立美術館の活用と可能性

問 美術館への関心が高まっている。観光誘客を進めていく上で、観光拠点の一つとして美術館をどのように活用するのか。

答 いろいろな議論し、観光面でも生きた存在にしていきたい。

芝王国ととりの推進

問 今後の県産芝の生産拡大と活用はどのように進めるのか。

答 芝を活用した緑化推進に向けてロボット芝刈り機などICT技術を取り入れながら、人材面も含め芝産業の振興を図っていく。

特殊詐欺被害対策

問 県民を詐欺被害から守る啓発など重点的な取組が必要だと考えるがどうか。

答（警察本部長） 自治体や事業者の方々と連携し、丁寧に注意喚起するなど安心・安全な鳥取県を実現する。

子育て王国の推進

問 晩婚化が進む中、婚活や不妊治療への支援もこれまで以上に必要と考えるがどうか。

答 不妊治療等も含めた対策は一定程度効果があり、事業検証しながらさらに拡充・展開していく。

あいサポート運動

問 鳥取県発のあいサポート運動は、8県16市6町へと全国に広がりを見せている。2年後の創設15年を節目にサミットなどを開催してはどうか。

答 15周年の節目に関係自治体におけるイベントも考えられる。横の連携を図るため、実効性を持たせた仕掛けなど協議していく。

国民保護

問 緊急時だけでなく、平時からの日常的な対策が必要では。

答 市町村とも協働し国民保護措置の改善を図っていきたい。

パートナー県政の継続を

問 パートナー県政を将来にわたって受け継いでほしい。

答 みんなで県政をつくっていく私たちの絆というのが県政の成否を決める鍵であり、将来にわたって進めていく。

（※1）「ギフ鳥（とり）」…ふるさと納税の仕組みを活用して、NPO法人や住民団体などの地域づくり活動を支援する鳥取県の寄附制度
（※2）半農半X…副業・兼業などの多様なライフスタイルを実現するための、農業と他の仕事を組み合わせた働き方